

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	消防団設備事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課		
		予算科目	9 款 1 項 2 目	事業番号	3940	所属長名	新田 亮仙	
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	楠本 員三		
法令根拠等	消防組織法				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり							■ 設定なし
総合計画における本事業の役割								
事業の対象	一般市民		事業の目的	消防団装備品、消防車両等の整備及び維持管理				
事業の内容 (整備内容)	消防車両等の車検、法定点検、修繕等及び消防団装備品の整備		昨年度の課題に対する具体的な改善策	消防施設等の整備に関する要綱の一部を改正し、それに伴い消防施設 10 カ年計画を変更し、財政負担の軽減を図った。				

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
財源内訳	直接事業費	25,413	20,381	0	0	0	16,556	ポンプ車等の車検	台	22	23	4	23
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0	ポンプ車等の修理見込	台	42	17	10	47
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		25,413	20,381	0	0	0	16,556	ポンプ車等の更新	台	2	1	0	1
職員の人工（にんく）数		0.00	0.00				0.00						
1人工当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費＋人件費		25,413	20,381				0						
主な実施主体				実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計		
						20,381	20,381	20,381	20,381	20,381	101,905		
成果指標	指標	予算計上に対する執行状況				単位	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標 毎年度		
						千円		目標	25413	20381			
	指標設定の考え方	緊急出動時など、日常の防災力の充実化を図るものであり、消防団配備車両等の整備を適正に行うための必要経費を計上し、適正な執行を測定する。				⇒	実績	1875	16510				
							指標で表せない効果					各部における点検整備状況を隔月で幹部が点検しており、災害即応にむけて準備されている。	

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)			平成28年度には、積載車1台小型動力ポンプ4台を更新配備し、地域防災力の強化が図られたと認識している。 しかしながら、当市の厳しい財政状況を鑑み、消防団施設等10カ年整備計画を見直し、耐用年数を基準としながらも、単年度の一度に多くの装備品等を更新配備するのではな く、前倒し繰延べ等分散させて配備更新することとした。 従って、装備品等の保守点検や維持管理等を適切に行う必要があると認識している。									
事業 の 評 価	自己判定 (担当責任者) <											

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		■	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
			市の財政状況を考慮し、緊急を要する地区から順位を決め事業進捗を図る。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	■	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	